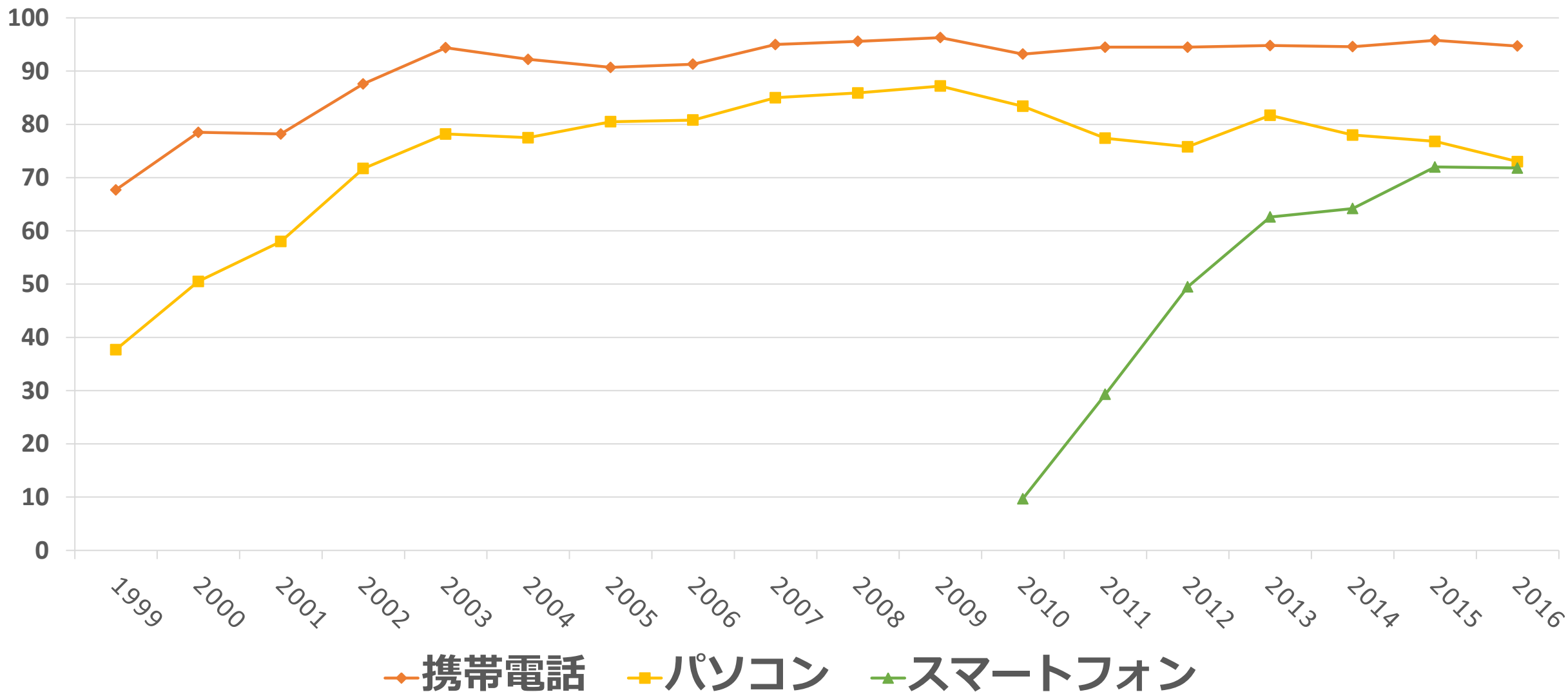


SNS利用の実態・相談先



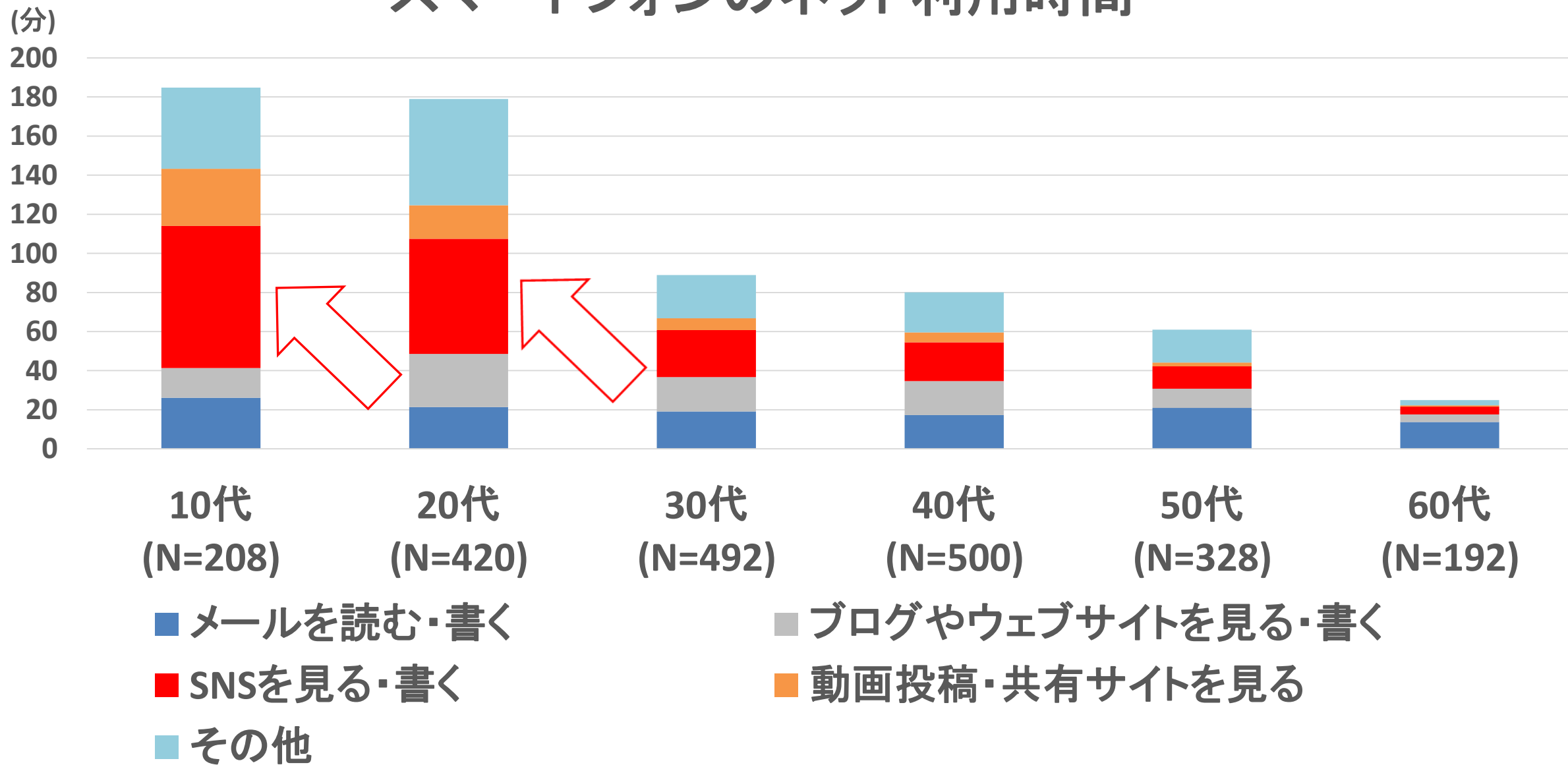
いのち
支える

インターネットの普及状況

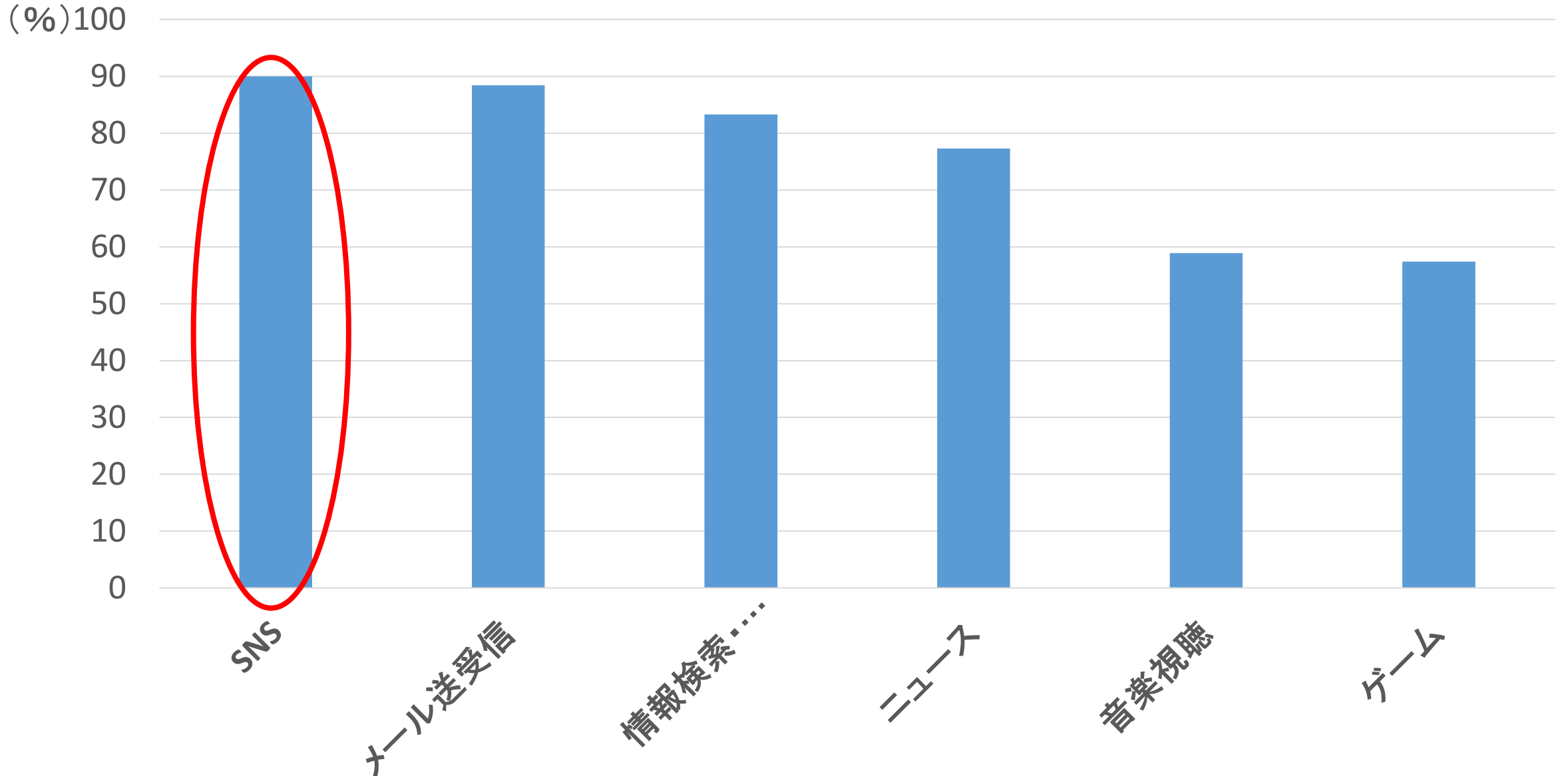


Q. スマートフォンを
どのくらいの間時間利用しているのか、
また何をしているの？

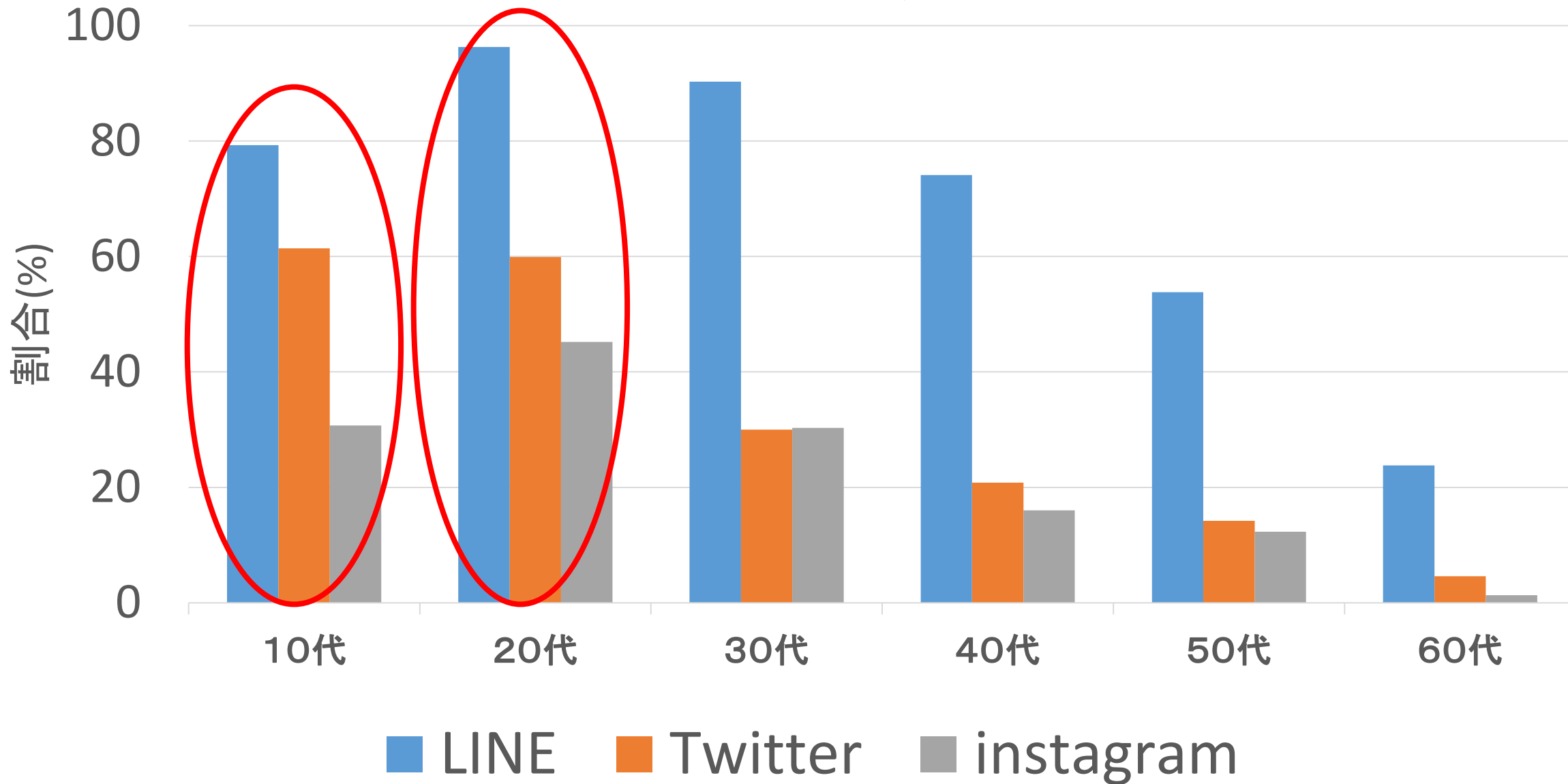
スマートフォンのネット利用時間



インターネットの利用目的



年代別SNS種類



Q. SNSと関連した事件を
知っていますか？

最近のSNSと自殺に関連した事件①

【新潟高3自殺、SNSで中傷／新潟県】2018年6月28日

新潟県立高校3年の男子生徒(17)が自殺した問題で、生徒が

SNS上で中傷されるなどのいじめを受けていたことを明らかにした。

教職員は自殺までいじめに気づけなかったという。男子生徒は6月27日朝、自ら学校に欠席連絡をして以降、行方がわからなくなり、翌28日に遺体で見つかった。いじめを受けたという趣旨のメモをスマートフォンに残していた。

校長は会見で、男子生徒がSNS上で中傷されたり、複数人から

嫌なあだ名で呼ばれたりするなどのいじめを受けていたと説明。自殺を把握した後に、聞き取りやアンケートをした結果、いじめがあったという声が複数あった。

最近のSNSと自殺に関連した事件②

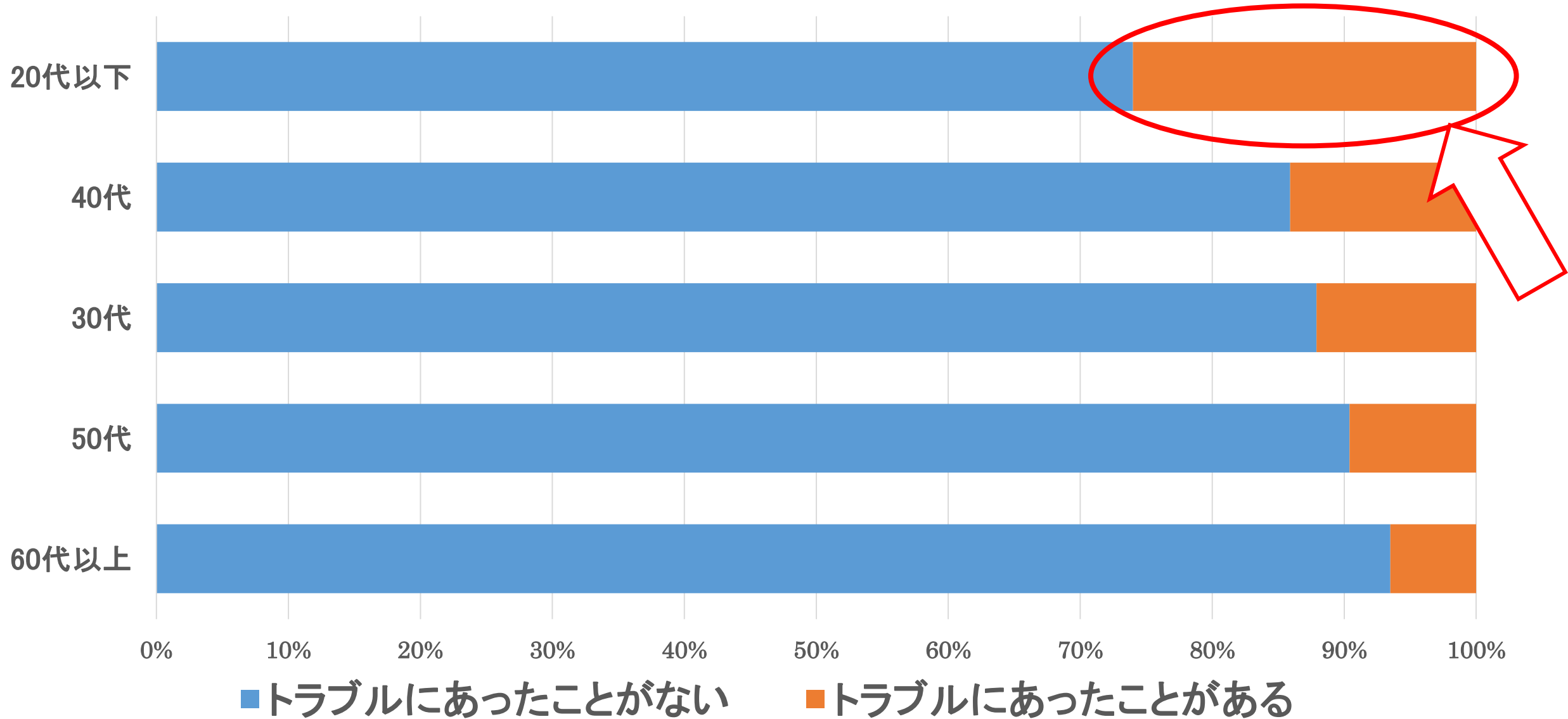
【SNSで集まり、男女5人自殺か 江戸川の住宅】2018年7月13日

東京都江戸川区の住宅で13日夜に見つかった男女5人の遺体について、いずれの死因も一酸化炭素中毒とみられると明らかにした。

同庁は5人がSNSを通じて集まり、集団自殺を図った可能性があるともみている。

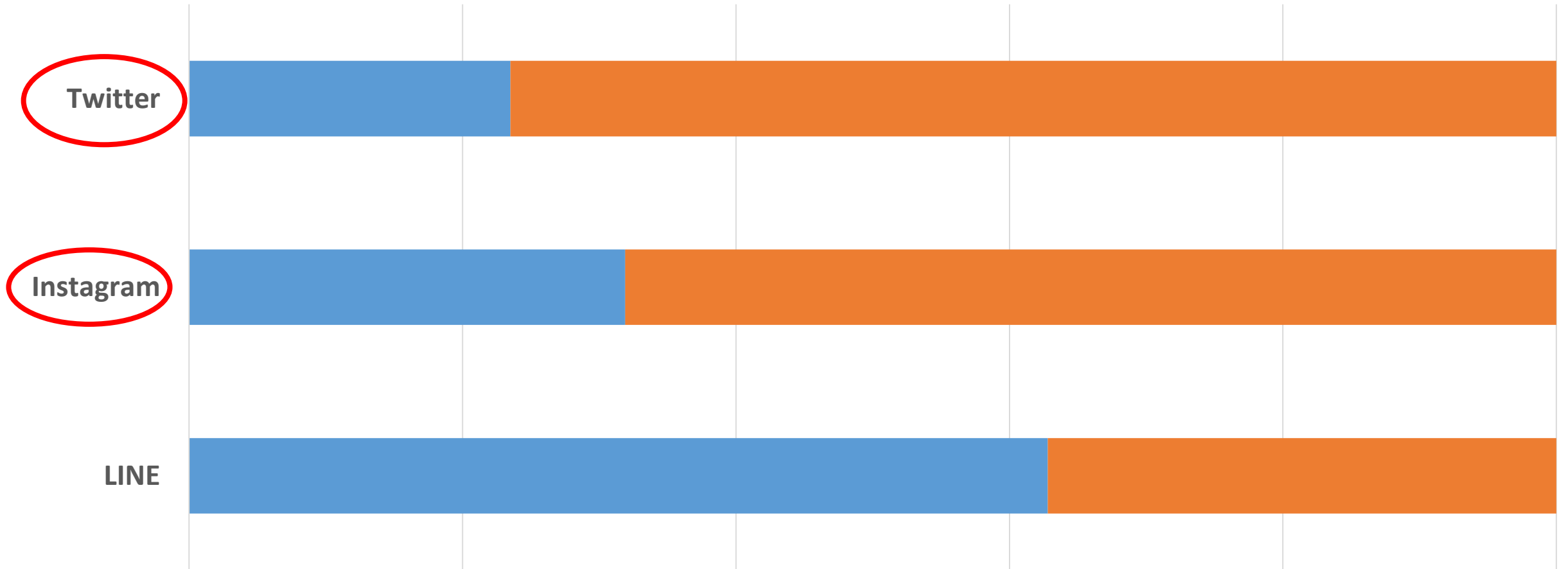
5人は、この家の世帯主の男性(37)のほか、いずれも関東近郊に住む20代の女性2人、40代の女性1人とみられる。もう1人は男性で、身元を示すものは見つかっていないという。5人の遺体は、世帯主の男性とSNSで知り合ったという人から寄せられた「自殺したい人が集まっている、と男性が言っている」との情報を基に、署員が見つけた。

SNSを使用していてトラブルにあった経験の有無



SNSでの実名利用と匿名利用の割合

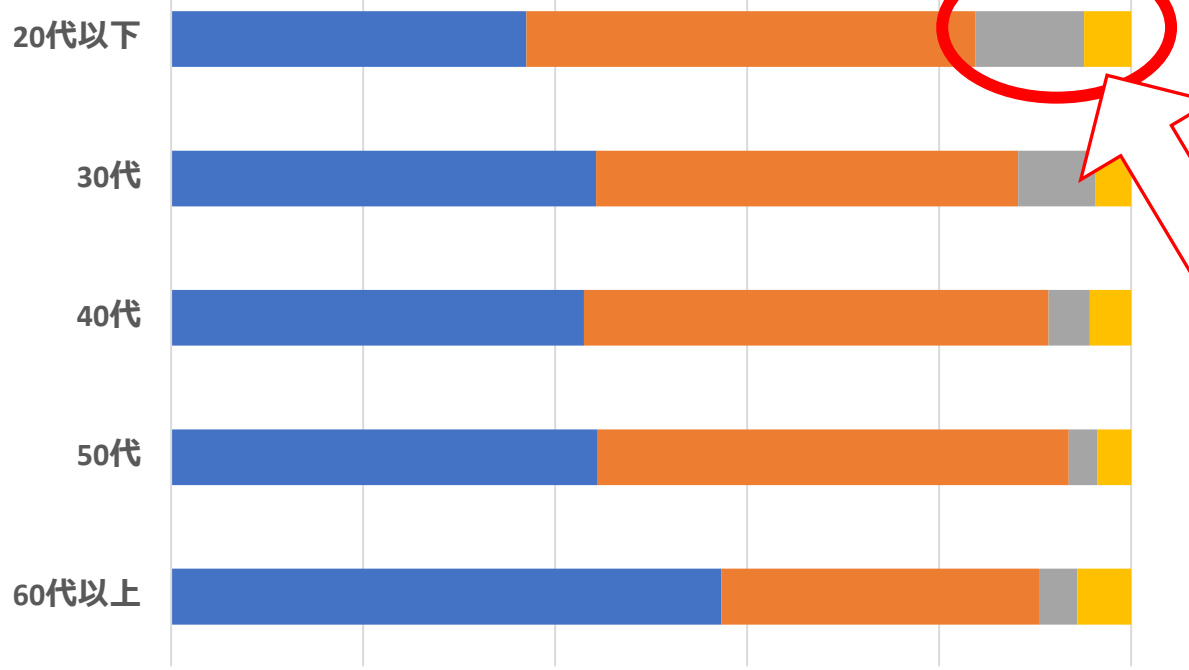
0% 20% 40% 60% 80% 100%



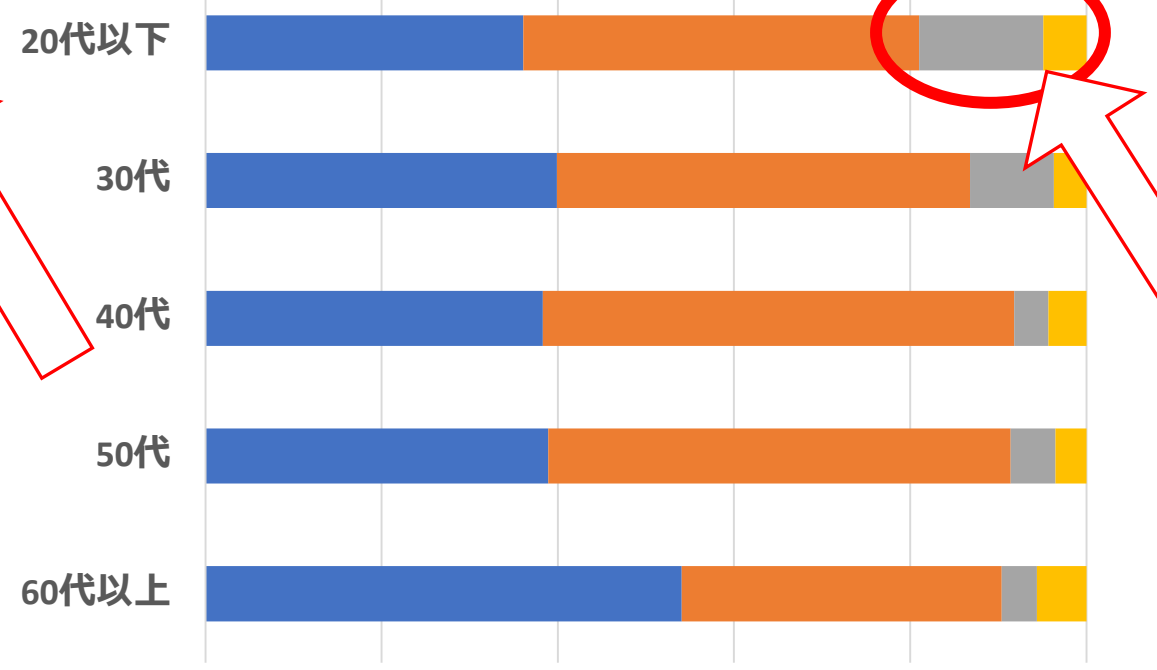
■ 実名利用 ■ 匿名利用

SNS利用に際して気を付けていること(年代別)

他人への誹謗中傷と受け止められないような内容を書かない



無暗に他人を挑発するような内容を書かない



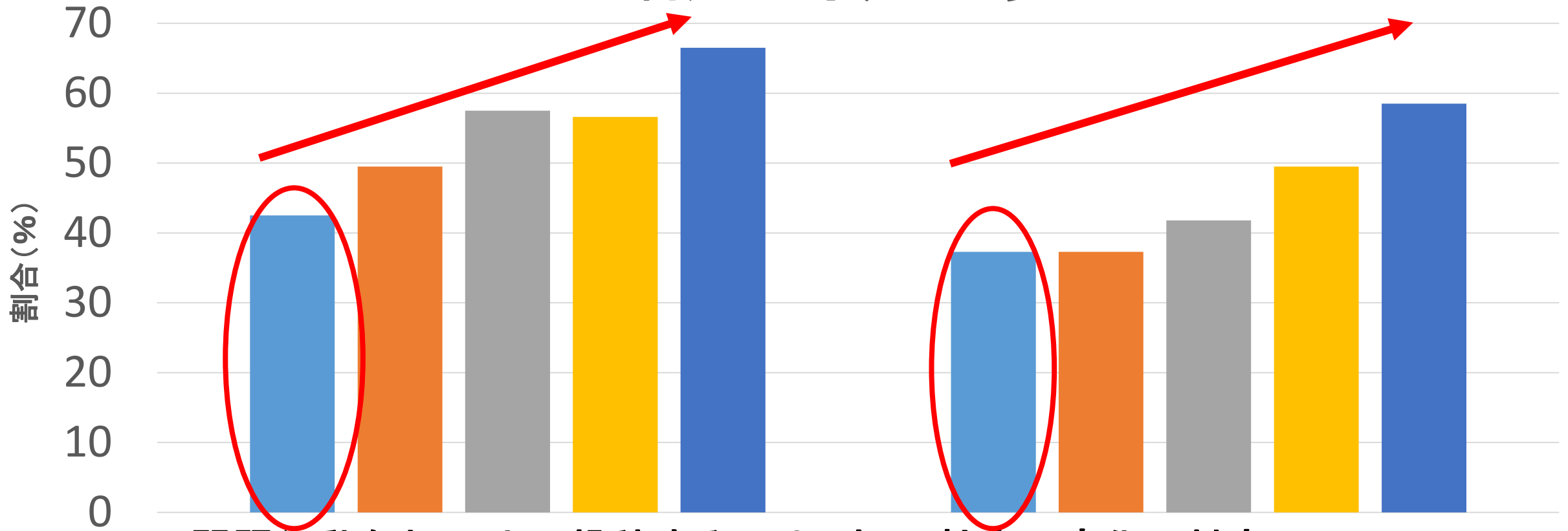
0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ 非常に気を付けている ■ 気を付けている

■ あまり気を付けていない ■ 気を付けていない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

SNS利用に対する意見



問題行動をネット上に投稿するのは、ネット社会の変化に対応して、モラルが低下していることの表れだ よりしっかりした情報モラル教育が必要だ

■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

SNS利用のデメリット

- 個人で操作するため教師や親の目が届きにくい
- 不特定多数の人が閲覧でき、拡散され、個人情報広がる可能性がある
- 写真をもとに住所を特定されることがある
- “いいね” や “シェア” によって第三者に拡散されてしまうことに気づいていない可能性がある
- 匿名で利用することにより、慎重に発言しない可能性がある
- 現実社会で何をしているか、わからない人とつながる
- SNSに依存してしてしまう

座間市事件その後…

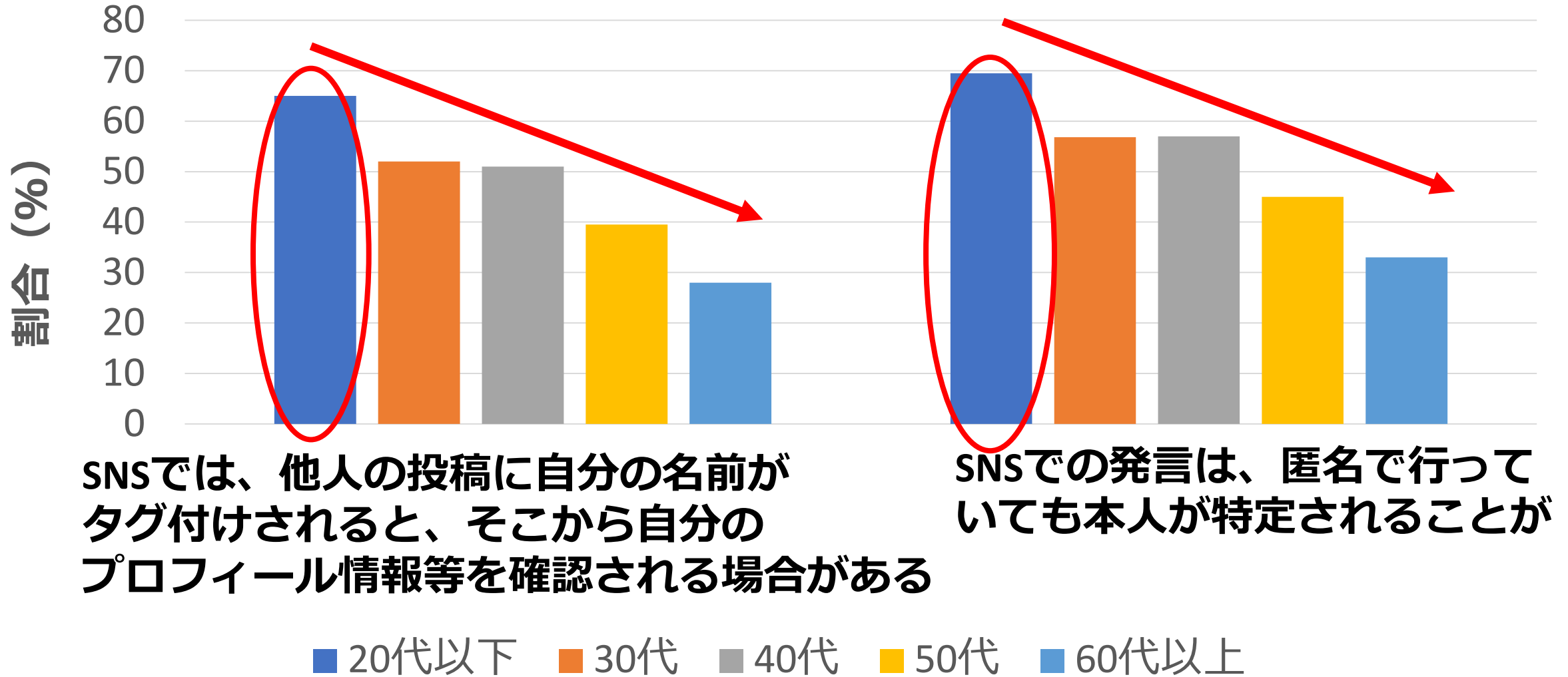
☞ SNSのみならず検索エンジンにも自殺関連用語が膨大に打ち込まれている現状がある

例) 日本でGoogleで「死にたい」と入力されている回数（検索履歴）は約24万回／月

…なぜSNSに死にたいと書き込むのか??

☞ 検索エンジンやSNSで、インターネット上で「死にたい」と打ち込むのは、現実の世界で「死にたい(くらいつらい気持ち)」を他者に打ち明けられず、思わず手に持つ携帯電話に打ち込んでいる人が多いのではないかと考えられる。

SNSの理解度



SNSでは、他人の投稿に自分の名前がタグ付けされると、そこから自分のプロフィール情報等を確認される場合がある

SNSでの発言は、匿名で行っていても本人が特定されることがある

SNS利用が普及した背景

- 知りたいことについて情報を得られた（流行に乗れる）
- 同じ趣味・思考を持つ人と交流できた
- 疎遠になっていた人再び交流するようになった
- 承認欲求が満たされる
- 自己表現の場になっている
- 無料で利用できる

自殺しやすい人の 性格・傾向

若者のSNS利用の特徴

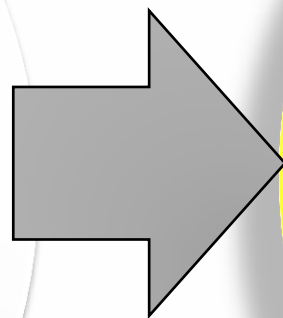
- ・ SNSを匿名利用することもある
- ・ SNSにおけるトラブルが多い
- ・ SNS利用時の注意事項を意識していない
- ・ SNSに関する知識は豊富

現代社会

スマートフォンの急速な普及に伴いSNSを気軽に利用できる環境である

 **若者でSNSにおけるトラブルが起こりやすい状況**

20代以下では、SNS
によるトラブルが
多い一方で、SNSを
巧みに利用して
いる割合も多い。



SNSが予防
ツールとして
活用できるの
では！？

SNSで実施されている自殺対策とは

団体名	事業内容・特色	相談可能日時
一般社団法人 社会的包摂サポート センター	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE・チャットによる相談 ・専門家と全国的な地域拠点のネットワークの連携 ・SNSをパトロールし、危険性の高いアカウントへのDM送付等を行う 	平成30年4月～9月 17:00～23:00
特定非営利活動法人 BONDプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・若年女性を対象 ・ネットパトロール、ハイリスク者の早期発見、LINEによる相談を実施 	平成30年4月～9月 のうち週5日 夜の時間帯を含む 4時間
特定非営利活動法人 地域生活支援 ネットワークサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・Twitterの見回り活動を行い、リスクの高い者に対して支援へ導く働きかけを実施 	平成30年4月～9月

SNS相談を行っている6団体(厚生労働省より)

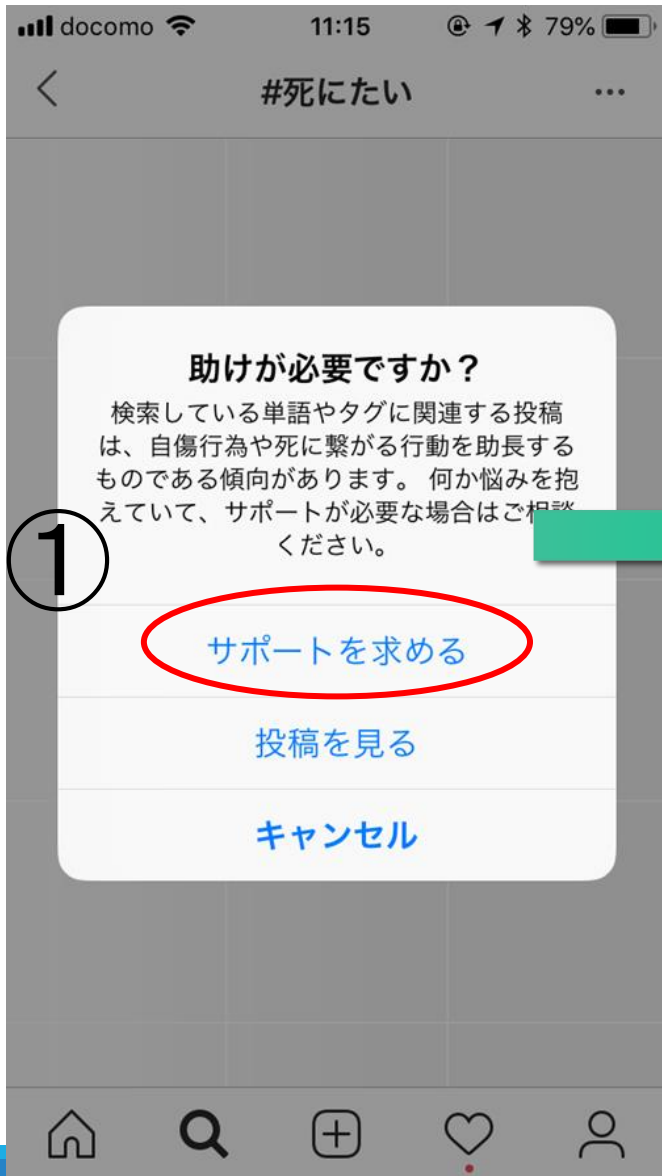
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000199724.html>

団体名	事業内容・特色	相談可能日時
特定非営利活動法人 OVA	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットゲートキーパー活動 （自殺関連語を検索した人に対し、検索連動広告を表示し、相談サイトに誘導）を実施 ・メールやチャット等を中心とした相談事業 	平成30年4月～ 平成31年3月
特定非営利活動法人 チャイルドライン支援 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳以下の子どもを対象 ・電話による相談とチャットによるオンライン相談を実施 	平成30年7月～ 平成31年3月 : 毎週2回 平成30年11月・ 平成31年3月に 1週間の継続実施 16:00～21:00
一般社団法人 日本いのちの電話連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・電話による相談とメールやチャットによるインターネット相談を実施 	(チャット相談) 平成30年8月～9月 (1週間) 16:00～22:00

SNS相談を行っている6団体(厚生労働省より)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000199724.html>

Instagram



東京都の実施

- ・ 実施期間/時間

平成30年3月19日(月)～3月31日(土)

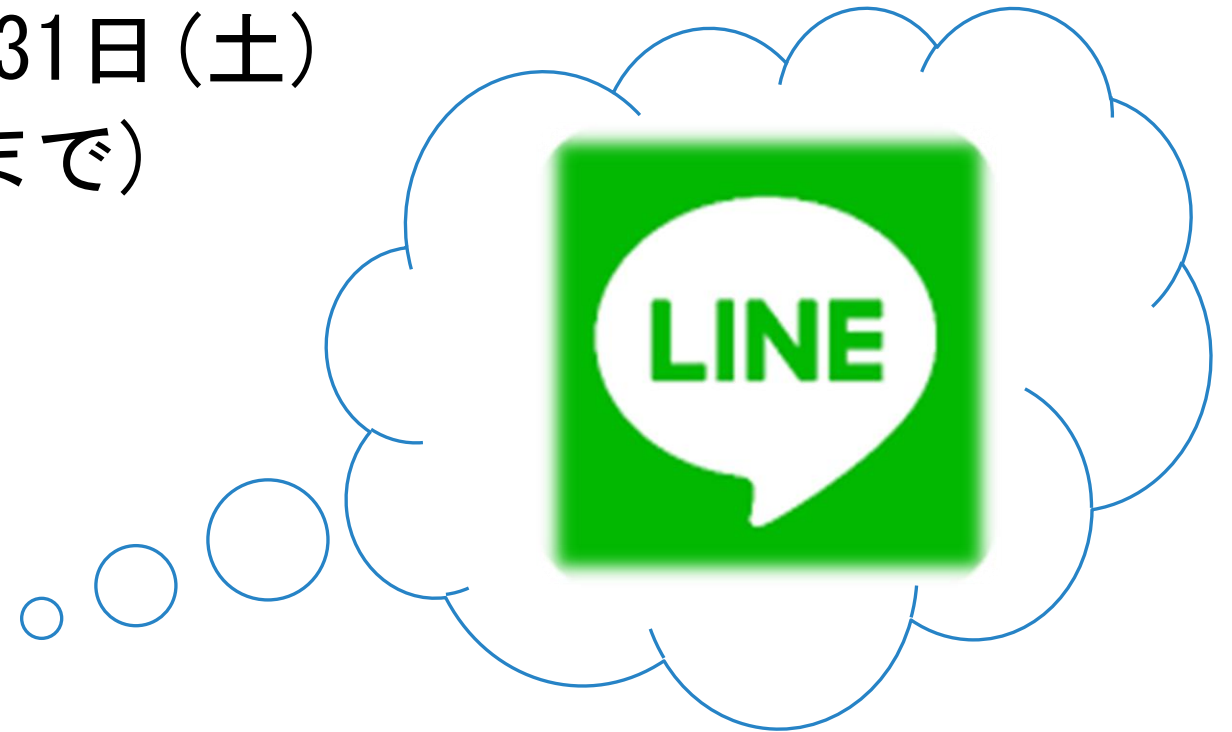
17時～22時(受付21時30分まで)

- ・ 相談体制

規模10回線(相談員：10名)

- ・ アカウント名

『相談ほっとLINE@東京』



- 友達登録数
相談最終日：1,244人

受付時間
17時から22時

- 相談アクセス件数：951件（時間外：458件）
- 対応件数：600件（対応率：63.1%）
- 相談者人数：422人（リピーター—90人）

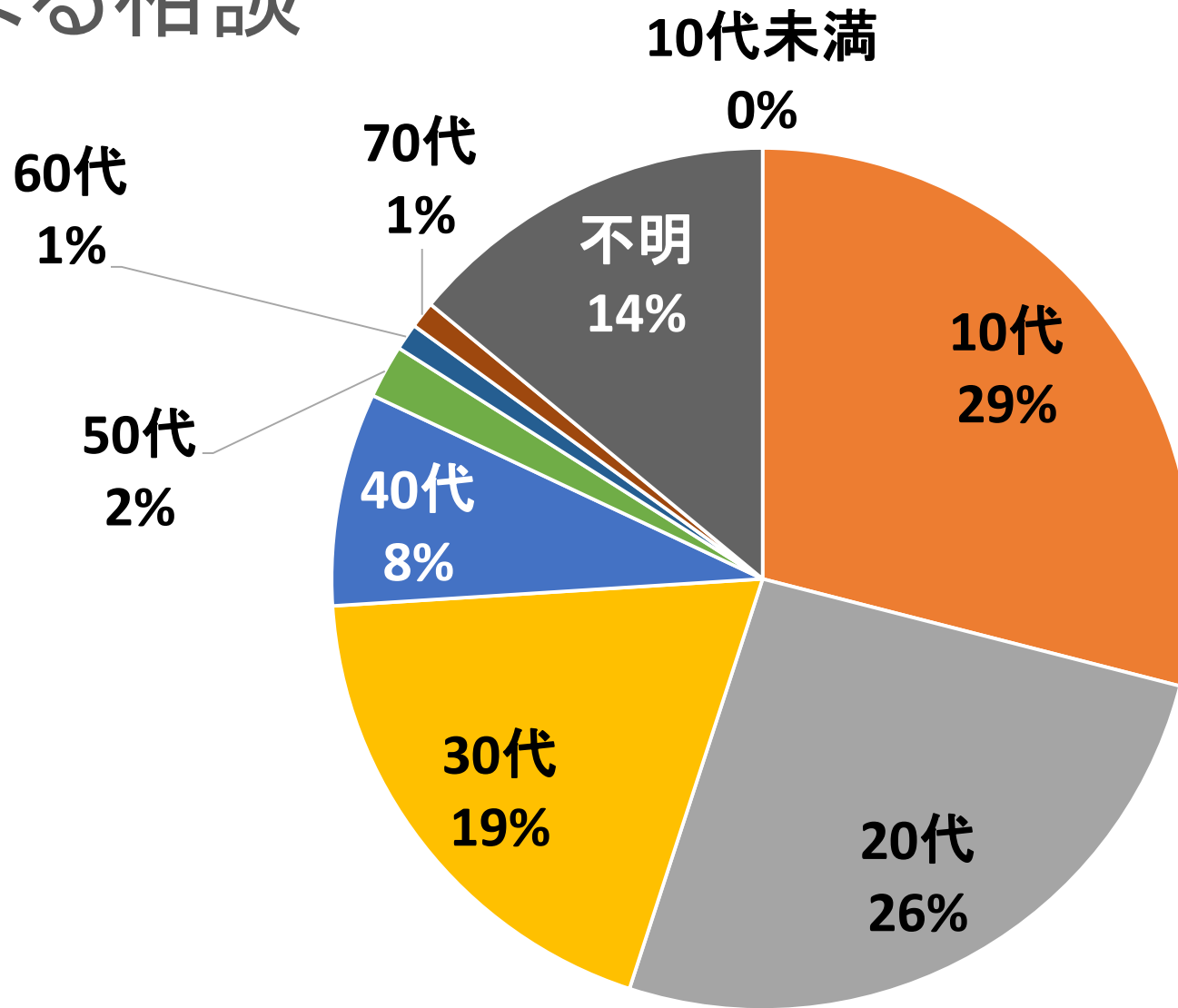
- 相談時間 平均相談時間：57分12秒/件

相談主訴内容

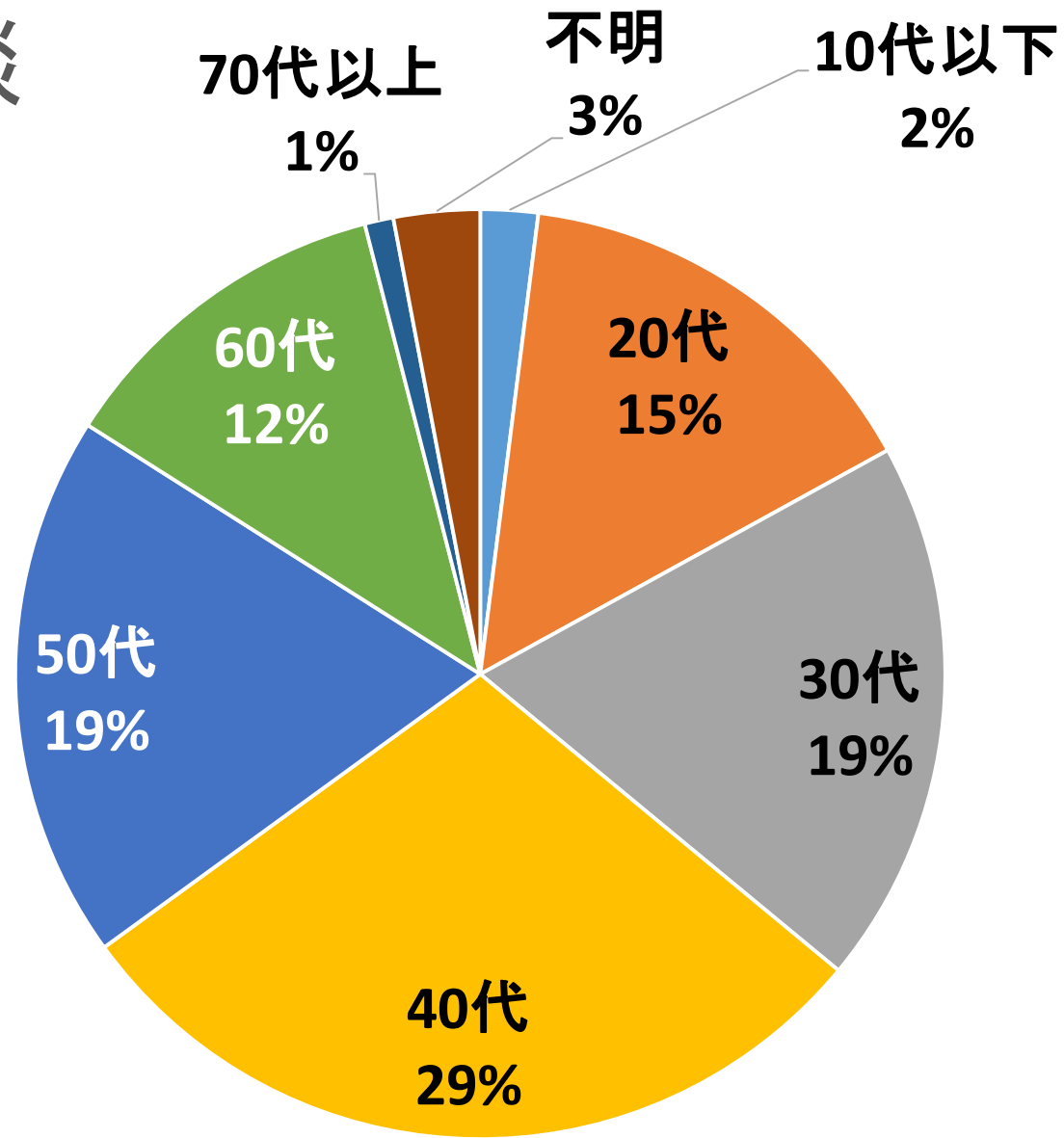
順位	主訴	相談件数 (件)
1	希死念慮・自殺企図	61
1	抑うつ・不安感・パニック発作・焦燥感・イライラ	61
3	心配事	41
4	家族	37
5	学校生活(いじめ・不登校など)	34
6	孤独感・寂寥感・空虚感	25
7	就職・異動・転職・休職・退職・復職・障害開示	23
8	友人・隣人・恋人	21

総計 600件

LINEによる相談



電話による相談



相談の内訳と男女別の緊急度・対応

- ・通報事案 1件
- ・警察署へ通報連絡し、LINE社と情報共有

緊急度	男性	女性	不明	統計	比率
通報		1		1	0.2%
高	2	6		8	1.3%
中	7	32		39	6.5%
低	31	181	4	216	36.0%
なし	30	108	4	132	22.0%
不明	32	115	57	204	34.0%
統計	90	443	65	600	100.0%

🔍 死にたい

「東京都自殺相談ダイヤル | 東京都福祉保健局」
～こころといのちのほっとライン～

日時：年中無休
14時～翌朝5時30分

☎ 0570-087-478

より相談しやすくするためには

- 24時間対応になると利用しやすいのでは
- せっかくラインしても対応ないと悲しい気持ちになる
- 相談相手の性別や年齢などを選べる制度
- どんなことを相談すればいいのかわからない
→ 選択肢として提示する

相談の内訳と男女別の緊急度・対応

- ・通報事案 1件
- ・警察署へ通報連絡し、LINE社と情報共有

緊急度	男性	女性			
通報		1			
高	2	6			
中	7	32			
低	31	181			
なし	30	108			
不明	32	115			
統計	90	443	65	600	100.0%

10代/20代の
自殺者数(H28)
男性:36人/177人
女性:18人/62人
↓
男性の自殺者数多い!

男性の相談少ない...

相談しても現状は
変わらないと思っ
てしまう

そもそも相談機関を
知らない

相談するのが
恥ずかしい
(男としてのプライド
がある)

悩みは自分で
解決するもの



男性も相談しやすいような方法・環境を考える必要があるのではないか？

SNSの活用も含めた
自殺対策を考えよう！